

若手研究者コラムリレー

坂本 拓弥 (さかもと たくや)



プロフィール

筑波大学体育系 体育・スポーツ哲学研究室 助教
日本体育学会の専門領域: 体育哲学
E-mail: sakamoto.takuya.ga@u.tsukuba.ac.jp

東京都生まれ

2005年 都立新宿高等学校 卒業

2009年 千葉大学教育学部中学校教員養成課程身体教育系 卒業

2013年 ロンドン大学教育研究所 教育哲学教室 博士課程特別研究生

2014年 明星大学教育学部 助教

2015年 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 単位取得退学 博士(教育学)

2018年より現職

【最近の趣味】

ゴルフ(常時仲間募集中)、ゲロン

【愛犬(ボーダーコリー)の名前】

メルロ(右)とポンティ(左)

【好きな哲学者】

メルロ=ポンティ、九鬼周造、アガンベン



わたしの研究

体育やスポーツの場で、私たち=人間はどのように生きているのか？

みなさん、こんにちは。坂本拓弥です。私のこれまでの研究は、正直なところ雑多です。しかし、それでも一応、次の2つの軸があるつもりです。

1. 身体(≠肉体的)的存在としての教師と児童・生徒

教師の言葉遣いや立ち居振る舞いは、目の前にいる児童・生徒に、計(り)知(れ)ない影響を与えます。また教師の側も、その身体で多くのことを感じ、学び、そして無自覚のうちに表現しています。これに関連して、最近では、教師が言葉を発するという行為を検討しています。特に、「言葉が他者にふれる」という視点を示すことによって、教師が用いる言葉の種類を問題にするのではなく、むしろ、児童・生徒に言葉が届くためには教師が「どのように言葉を発する必要があるのか」という難問にアプローチする可能性が拓かれると思っています。

2. 人間の欲望(≠生理的な欲求: 食欲・睡眠欲・性欲)

もう1つの軸は、人間の欲望です。欲望は、生物学的欲求を超えて、物事を過剰に欲するという人間に特有の事象です。この視点から、暴力行為等の問題を検討してきました。指導者の暴力も、アスリートのドーピング違反も、そもそもなぜ彼らがそのような行為へ向かってしまうのかが理解できなければ、それらの問題の根本的な解決策を考えることはできないと思います。また最近では、スポーツにおけるテクノロジーへの欲望に注目しています。これは、例えばeスポーツを拒絶/許容する、私たち自身のスポーツ観を見直すことにつながっていると思っています。

わたしの最近の論文

- ・坂本拓弥(2020) 体育教師の指導言語が児童・生徒に(ふれる)ことについての哲学的試論. 体育学研究 65: 171-186.
- ・坂本拓弥(2018) 運動部活動における指導者の欲望論試論: 「コーチング回路」概念の批判的検討を通して. 体育・スポーツ哲学研究 40(2): 105-117.

なんでも帳…ということなので…

最近考えていることを詰め込んで述べます。反感や共感をお寄せいただき、対話の可能性が拓かれれば幸いです。最近、様々な物事の(効率化の功罪)について考えています。もちろん、効率化すべきことは山ほどあります。しかし、その一方で、「効率化すべきでないこと」とは一体何で、どのような基準によってそれを判断すべきなのでしょう。そのような基準を、私たちは持っているのでしょうか。例えば、初めてできた恋人と一緒に下校する時、google mapの示す最短ルートで効率よく帰りたくはないはず。しかし、私たちは往々にして、体育やスポーツの場で、そのような効率性第一の思考に陥ってはいないでしょうか。何事も効率よく、と。このことは、現代社会における時間感覚にも反映されているようです。例えば、アニメ「鬼滅の刃」では、2年に及ぶ修行が約2話で描かれますが、「スラムダンク」の湘北-陵南戦(2回目)の1試合はなんと30話かけて(約7カ月半!)放送されていました。私たちは、いつの間にか色々な物事を待たなくなっているのかもしれない。そのような変化には、テクノロジーの影響が不可分です。その最たるスマホについて一言。映画「となりのトトロ」で、サツキがバス停でトトロと出会えたのは、スマホが無くお父さんと連絡が取れなかったからです。この例は、私たちの想像力の問題を提起するはず。さて、こういう突拍子もないことを言い、従来の研究にツッコミをいれ、ときどきケンカを売りながら、少しずつ新たな世界に光を当てることが、哲学の仕事ではないかと、今は思っています。これからも、思考の冒険としての体育・スポーツ哲学を、多くの方とともに楽しんでいきたいと思っています。

○次回のコラムリレーは日本体育大学の「富田幸祐」さんを予定しています。

日本体育学会若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育学会若手の会が発足しました!

→メール링リスト登録フォーム:

<https://goo.gl/forms/zGMPdPa5fY3kcB5q2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メール링リストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

taiikugakkaiwakate@gmail.com (担当: 木村)

